

野村ニュージーランド債券ファンド (毎月分配型)

運用報告書(全体版)

第47期(決算日2018年9月12日) 第48期(決算日2018年10月12日) 第49期(決算日2018年11月12日)
第50期(決算日2018年12月12日) 第51期(決算日2019年1月15日) 第52期(決算日2019年2月12日)

作成対象期間(2018年8月14日～2019年2月12日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/債券	
信託期間	2014年9月10日から2024年8月13日までです。	
運用方針	ニュージーランド債券オープン マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券への投資を通じて、主としてニュージーランドドル建ての公社債に投資し、インカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行うことを基本とします。	
主な投資対象	野村ニュージーランド債券ファンド(毎月分配型)	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、公社債等に直接投資する場合があります。
	マザーファンド	ニュージーランドドル建ての公社債(国際機関債、政府機関債、準政府債(州政府債)、国債、社債等)を主要投資対象とします。
主な投資制限	野村ニュージーランド債券ファンド(毎月分配型)	外貨建て資産への実質投資割合には制限を設けません。株式への投資は、転換社債を転換したものに限り、株式への実質投資割合は信託財産の純資産総額の5%以内とします。
	マザーファンド	外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。株式への投資は、転換社債を転換したものに限り、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の5%以内とします。
分配方針	毎決算時に、原則として利子・配当等収益等を中心に分配を行うことを基本とします。ただし、基準価額水準等によっては、売買益等が中心となる場合があります。なお、市況動向や基準価額水準等によっては、分配金額が大きく変動する場合があります。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104
(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税分	込配	み金	期騰落	額中率	債組入比率	券率	債先物比率	券率	純資産総額
23期(2016年9月12日)	9,315			30		2.3	96.9		—		606
24期(2016年10月12日)	8,940			30		△3.7	97.5		—		579
25期(2016年11月14日)	9,092			30		2.0	91.5		—		589
26期(2016年12月12日)	9,721			30		7.2	95.3		—		337
27期(2017年1月12日)	9,617			30		△0.8	97.7		—		226
28期(2017年2月13日)	9,698			30		1.2	97.6		—		214
29期(2017年3月13日)	9,354			30		△3.2	97.3		—		202
30期(2017年4月12日)	9,068			30		△2.7	96.2		—		197
31期(2017年5月12日)	9,271			30		2.6	97.7		—		201
32期(2017年6月12日)	9,540			30		3.2	97.5		—		207
33期(2017年7月12日)	9,773			30		2.8	97.8		—		212
34期(2017年8月14日)	9,629			30		△1.2	96.9		—		209
35期(2017年9月12日)	9,525			30		△0.8	96.4		—		206
36期(2017年10月12日)	9,478			30		△0.2	96.0		—		202
37期(2017年11月13日)	9,367			30		△0.9	97.0		—		198
38期(2017年12月12日)	9,364			30		0.3	97.6		—		199
39期(2018年1月12日)	9,637			30		3.2	97.7		—		200
40期(2018年2月13日)	9,350			30		△2.7	97.2		—		192
41期(2018年3月12日)	9,246			30		△0.8	97.3		—		188
42期(2018年4月12日)	9,351			30		1.5	97.7		—		190
43期(2018年5月14日)	9,058			30		△2.8	98.3		—		179
44期(2018年6月12日)	9,143			30		1.3	97.5		—		178
45期(2018年7月12日)	9,009			30		△1.1	92.8		—		175
46期(2018年8月13日)	8,744			30		△2.6	97.1		—		170
47期(2018年9月12日)	8,718			30		0.0	97.7		—		167
48期(2018年10月12日)	8,745			30		0.7	97.3		—		166
49期(2018年11月12日)	9,050			30		3.8	97.3		—		170
50期(2018年12月12日)	9,341			30		3.5	98.2		—		175
51期(2019年1月15日)	8,896			30		△4.4	95.5		—		167
52期(2019年2月12日)	8,993			30		1.4	96.9		—		165

*基準価額の騰落率は分配金込み。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*当ファンドはマザーファンドを通じ、ニュージーランドドル建ての公社債に投資しておりますが、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 券 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
			騰 落 率	騰 落 率			
第47期	(期 首) 2018年8月13日	円 8,744	% —		% 97.1		% —
	8月末	8,872	1.5		97.3		—
	(期 末) 2018年9月12日	8,748	0.0		97.7		—
第48期	(期 首) 2018年9月12日	8,718	—		97.7		—
	9月末	8,984	3.1		97.6		—
	(期 末) 2018年10月12日	8,775	0.7		97.3		—
第49期	(期 首) 2018年10月12日	8,745	—		97.3		—
	10月末	8,893	1.7		97.6		—
	(期 末) 2018年11月12日	9,080	3.8		97.3		—
第50期	(期 首) 2018年11月12日	9,050	—		97.3		—
	11月末	9,271	2.4		97.8		—
	(期 末) 2018年12月12日	9,371	3.5		98.2		—
第51期	(期 首) 2018年12月12日	9,341	—		98.2		—
	12月末	8,935	△4.3		96.4		—
	(期 末) 2019年1月15日	8,926	△4.4		95.5		—
第52期	(期 首) 2019年1月15日	8,896	—		95.5		—
	1月末	9,046	1.7		97.4		—
	(期 末) 2019年2月12日	9,023	1.4		96.9		—

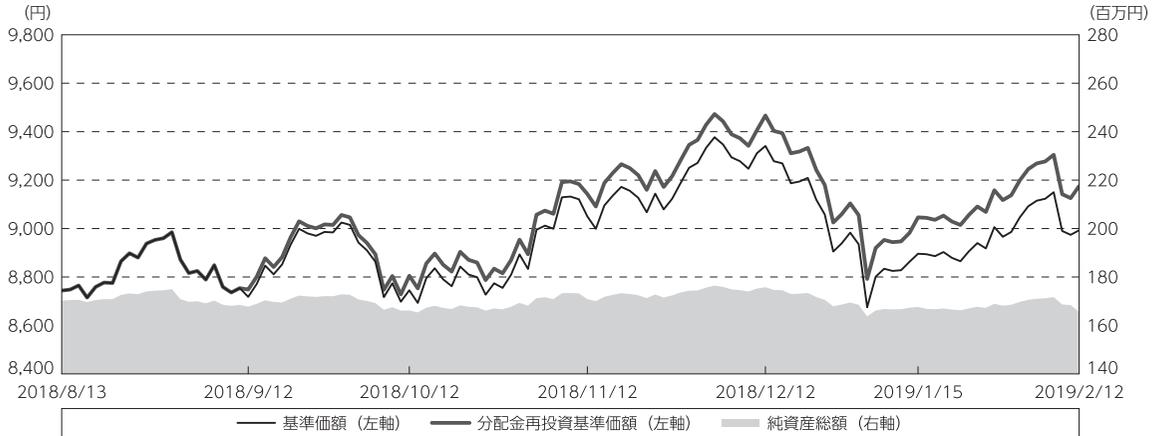
* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

* 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○作成期間中の基準価額等の推移



第47期首：8,744円

第52期末：8,993円（既払分配金（税込み）：180円）

騰落率：4.9%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2018年8月13日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

- (上昇要因)
- ・ 債券保有による利息収入を得られたこと。
 - ・ 保有する債券の価格が上昇したこと。
 - ・ ニュージーランドドルが対円で上昇したこと。

○投資環境

ニュージーランドドルについては、RBNZ（ニュージーランド準備銀行）の利下げが意識されたことやグローバルな株式市場の下落によるリスク回避的な動きを受けて対円で下落する場面もあったものの、米国の当面の利上げ見送り期待が高まるなかで株式市場が上昇したことなどを背景に、対円で上昇となりました。

債券については、米国の利上げ観測が後退して米国債の利回りが低下（価格は上昇）するなか、RBNZの利下げの可能性が意識されたことなどから、ニュージーランド国債の利回りは低下しました。

○当ファンドのポートフォリオ

[ニュージーランド債券オープン マザーファンド]

<ファンドデュレーション>

RBNZ（ニュージーランド準備銀行）の政策金利据え置きが続くなか、デュレーションを前作成期末から小幅に長期化しました。当作成期末時点でのファンドのデュレーション^(※)は、4.8年としています。

(※) デュレーションとは、債券の利回り変化に対する価格変化の感応度を表し、数値が大きいほど利回り変化に対する価格変化が大きくなります。ファンドデュレーションとは、債券デュレーション×債券組入比率で表されます。

<セクター・アロケーション>

利回り水準・信用力を勘案して、高格付けの国際機関債や政府機関債を中心としたポートフォリオとしました。

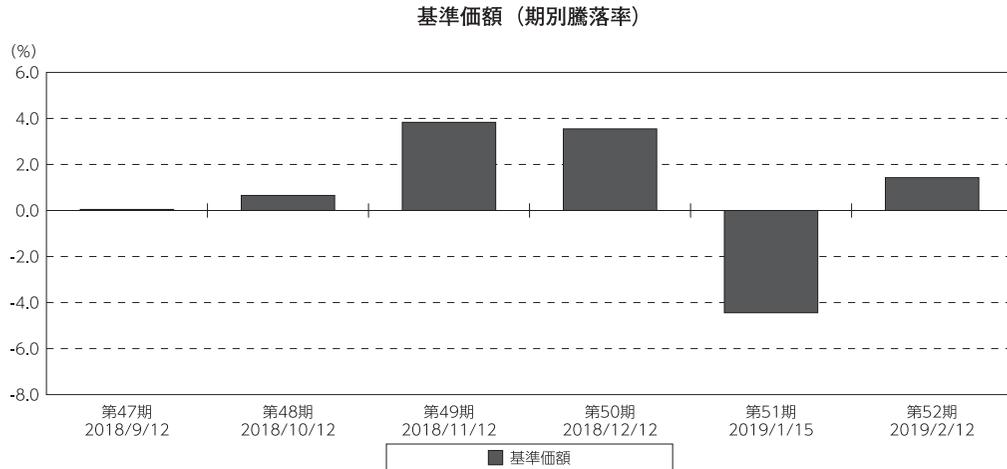
[野村ニュージーランド債券ファンド（毎月分配型）]

主要投資対象であるニュージーランド債券オープン マザーファンド受益証券の組入比率を高位に維持し、マザーファンドの投資成果を享受するよう努めました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドはマザーファンドを通じ、ニュージーランドドル建ての公社債に投資しておりますが、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、作成期間中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

◎分配金

分配金については、利子配当収入や基準価額水準等を勘案し、決定いたしました。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期
	2018年8月14日～ 2018年9月12日	2018年9月13日～ 2018年10月12日	2018年10月13日～ 2018年11月12日	2018年11月13日～ 2018年12月12日	2018年12月13日～ 2019年1月15日	2019年1月16日～ 2019年2月12日
当期分配金 (対基準価額比率)	30 0.343%	30 0.342%	30 0.330%	30 0.320%	30 0.336%	30 0.332%
当期の収益	22	26	30	30	23	25
当期の収益以外	7	3	—	—	6	4
翌期繰越分配対象額	803	799	800	801	795	790

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◎今後の運用方針

[ニュージーランド債券オープン マザーファンド]

ニュージーランドドル建ての公社債（国際機関債、政府機関債、準政府債（州政府債）、国債、社債等）を主要投資対象とし、インカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目指します。

・投資戦略

<ファンドデュレーション>

グローバルな経済環境の変化やニュージーランドの政策金利見通しを見極めながらコントロールします。

<セクター・アロケーション>

利回り水準・信用力を勘案してアロケーションを決定します。足元の環境では、引き続き国際機関債/政府機関債を中心としたポートフォリオとする見込みです。

[野村ニュージーランド債券ファンド（毎月分配型）]

主要投資対象であるニュージーランド債券オープン マザーファンド受益証券の組入比率を高位に維持し、マザーファンドの投資成果を享受するよう努めます。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年8月14日～2019年2月12日)

項 目	第47期～第52期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 50	% 0.558	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(24)	(0.271)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(24)	(0.271)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.016)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	1	0.008	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(1)	(0.007)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	51	0.566	
作成期間の平均基準価額は、9,000円です。			

* 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2018年8月14日～2019年2月12日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第47期～第52期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ニュージーランド債券オープン マザーファンド	千口 363	千円 400	千口 13,237	千円 14,520

* 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2018年8月14日～2019年2月12日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2019年2月12日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第46期末	第52期末	
	口 数	口 数	評 価 額
ニュージーランド債券オープン マザーファンド	千口 160,482	千口 147,608	千円 164,907

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2019年2月12日現在)

項 目	第52期末	
	評 価 額	比 率
ニュージーランド債券オープン マザーファンド	千円 164,907	% 97.3
コール・ローン等、その他	4,511	2.7
投資信託財産総額	169,418	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*ニュージーランド債券オープン マザーファンドにおいて、第52期末における外貨建て純資産（2,718,142千円）の投資信託財産総額（2,743,981千円）に対する比率は99.1%です。

*外貨建て資産は、第52期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1ニュージーランドドル=74.33円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第47期末	第48期末	第49期末	第50期末	第51期末	第52期末
	2018年9月12日現在	2018年10月12日現在	2018年11月12日現在	2018年12月12日現在	2019年1月15日現在	2019年2月12日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	168,496,304	167,750,575	172,614,260	176,512,744	168,705,378	169,418,992
コール・ローン等	341,280	409,394	1,298,770	526,153	679,479	731,199
ニュージーランド債券オープン マザーファンド(附価額)	167,425,024	165,861,181	170,345,490	175,266,591	167,125,899	164,907,793
未収入金	730,000	1,480,000	970,000	720,000	900,000	3,780,000
(B) 負債	733,931	1,551,458	1,750,846	723,469	1,081,187	3,775,307
未払収益分配金	577,288	570,171	566,396	564,574	565,272	552,593
未払解約金	—	825,169	1,024,706	—	340,042	3,078,771
未払信託報酬	156,346	155,823	159,446	158,594	175,541	143,676
未払利息	—	—	2	1	1	1
その他未払費用	297	295	296	300	331	266
(C) 純資産総額(A－B)	167,762,373	166,199,117	170,863,414	175,789,275	167,624,191	165,643,685
元本	192,429,599	190,057,083	188,798,913	188,191,338	188,424,078	184,197,697
次期繰越損益金	△ 24,667,226	△ 23,857,966	△ 17,935,499	△ 12,402,063	△ 20,799,887	△ 18,554,012
(D) 受益権総口数	192,429,599口	190,057,083口	188,798,913口	188,191,338口	188,424,078口	184,197,697口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,718円	8,745円	9,050円	9,341円	8,896円	8,993円

(注) 第47期首元本額は194,701,477円、第47～52期中追加設定元本額は2,225,514円、第47～52期中一部解約元本額は12,729,294円、1口当たり純資産額は、第47期0.8718円、第48期0.8745円、第49期0.9050円、第50期0.9341円、第51期0.8896円、第52期0.8993円です。

○損益の状況

項 目	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期
	2018年8月14日～ 2018年9月12日	2018年9月13日～ 2018年10月12日	2018年10月13日～ 2018年11月12日	2018年11月13日～ 2018年12月12日	2018年12月13日～ 2019年1月15日	2019年1月16日～ 2019年2月12日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 8	△ 7	△ 25	△ 27	△ 34	△ 27
支払利息	△ 8	△ 7	△ 25	△ 27	△ 34	△ 27
(B) 有価証券売買損益	229,831	1,229,211	6,486,722	6,197,810	△ 7,621,748	2,474,958
売買益	284,578	1,258,454	6,544,309	6,211,100	18,541	2,501,894
売買損	△ 54,747	△ 29,243	△ 57,587	△ 13,290	△ 7,640,289	△ 26,936
(C) 信託報酬等	△ 156,643	△ 156,118	△ 159,742	△ 158,894	△ 175,872	△ 143,942
(D) 当期損益金(A+B+C)	73,180	1,073,086	6,326,955	6,038,889	△ 7,797,654	2,330,989
(E) 前期繰越損益金	△ 22,931,410	△ 23,106,958	△ 22,402,555	△ 16,569,572	△ 11,071,626	△ 18,974,752
(F) 追加信託差損益金	△ 1,231,708	△ 1,253,923	△ 1,293,503	△ 1,306,806	△ 1,365,335	△ 1,357,656
(配当等相当額)	(5,385,251)	(5,336,510)	(5,324,319)	(5,319,052)	(5,358,861)	(5,251,499)
(売買損益相当額)	(△ 6,616,959)	(△ 6,590,433)	(△ 6,617,822)	(△ 6,625,858)	(△ 6,724,196)	(△ 6,609,155)
(G) 計(D+E+F)	△ 24,089,938	△ 23,287,795	△ 17,369,103	△ 11,837,489	△ 20,234,615	△ 18,001,419
(H) 収益分配金	△ 577,288	△ 570,171	△ 566,396	△ 564,574	△ 565,272	△ 552,593
次期繰越損益金(G+H)	△ 24,667,226	△ 23,857,966	△ 17,935,499	△ 12,402,063	△ 20,799,887	△ 18,554,012
追加信託差損益金	△ 1,231,708	△ 1,253,923	△ 1,293,503	△ 1,306,806	△ 1,365,335	△ 1,357,656
(配当等相当額)	(5,385,900)	(5,337,025)	(5,325,086)	(5,319,432)	(5,359,896)	(5,251,850)
(売買損益相当額)	(△ 6,617,608)	(△ 6,590,948)	(△ 6,618,589)	(△ 6,626,238)	(△ 6,725,231)	(△ 6,609,506)
分配準備積立金	10,068,251	9,866,112	9,795,257	9,758,391	9,620,138	9,302,627
繰越損益金	△ 33,503,769	△ 32,470,155	△ 26,437,253	△ 20,853,648	△ 29,054,690	△ 26,498,983

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2018年8月14日～2019年2月12日)は以下の通りです。

項 目	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期
	2018年8月14日～ 2018年9月12日	2018年9月13日～ 2018年10月12日	2018年10月13日～ 2018年11月12日	2018年11月13日～ 2018年12月12日	2018年12月13日～ 2019年1月15日	2019年1月16日～ 2019年2月12日
a. 配当等収益(経費控除後)	425,080円	509,188円	583,485円	570,335円	447,800円	462,685円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金相抵後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	5,385,900円	5,337,025円	5,325,086円	5,319,432円	5,359,896円	5,251,850円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	10,220,459円	9,927,095円	9,778,168円	9,752,630円	9,737,610円	9,392,535円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	16,031,439円	15,773,308円	15,686,739円	15,642,397円	15,545,306円	15,107,070円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	833円	829円	830円	831円	825円	820円
g. 分配金	577,288円	570,171円	566,396円	564,574円	565,272円	552,593円
h. 分配金(1万口当たり)	30円	30円	30円	30円	30円	30円

○分配金のお知らせ

	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期
1万円当たり分配金（税込み）	30円	30円	30円	30円	30円	30円

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

ニュージーランド債券オープン マザーファンド

運用報告書

第5期（決算日2019年2月12日）

作成対象期間（2018年2月14日～2019年2月12日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	ニュージーランドドル建ての公社債（国際機関債、政府機関債、準政府債（州政府債）、国債、社債等）を主要投資対象とし、インカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行うことを基本とします。 投資する公社債は、原則として、投資時点においてBBB一格相当以上の格付け（投資適格格付け）を有する公社債、または同等の信用度を有すると判断される公社債とします。
主な投資対象	ニュージーランドドル建ての公社債を主要投資対象とします。
主な投資制限	外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。 株式への投資は、転換社債を転換したもの等に関し、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の5%以内とします。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	純資産額
		騰	落			
(設定日)	円	%		%	%	百万円
2014年8月29日	10,000	-		-	-	1,613
1期(2015年2月12日)	10,686	6.9		97.9	-	6,103
2期(2016年2月12日)	9,718	△9.1		98.3	-	5,466
3期(2017年2月13日)	10,895	12.1		97.8	-	4,138
4期(2018年2月13日)	11,035	1.3		97.4	-	3,404
5期(2019年2月12日)	11,172	1.2		97.4	-	2,716

*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*当ファンドは、ニュージーランドドル建ての公社債に投資しておりますが、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

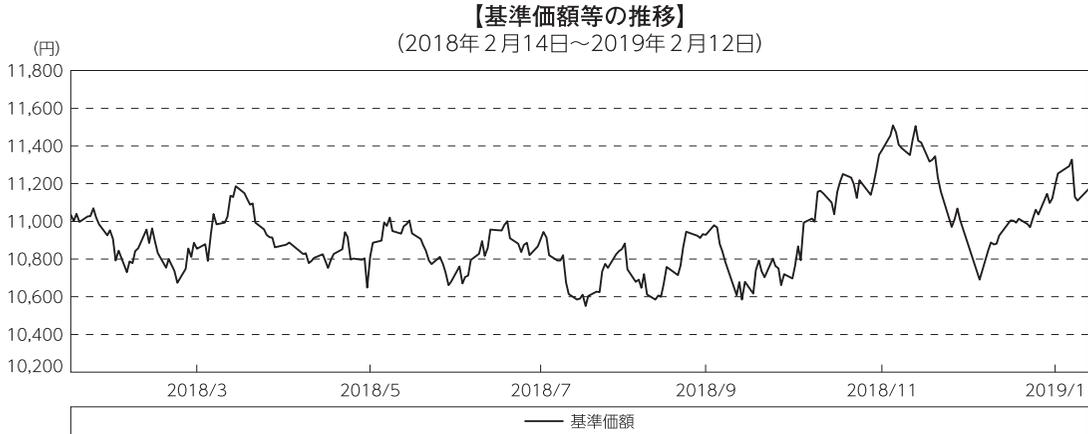
年月日	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	債券率
		騰	落			
(期首)	円	%		%	%	%
2018年2月13日	11,035	-		97.4	-	-
2月末	10,907	△1.2		97.4	-	-
3月末	10,855	△1.6		96.5	-	-
4月末	10,862	△1.6		98.1	-	-
5月末	10,814	△2.0		97.6	-	-
6月末	10,681	△3.2		98.4	-	-
7月末	10,908	△1.2		97.2	-	-
8月末	10,746	△2.6		97.4	-	-
9月末	10,929	△1.0		97.8	-	-
10月末	10,867	△1.5		97.9	-	-
11月末	11,378	3.1		98.0	-	-
12月末	11,009	△0.2		96.7	-	-
2019年1月末	11,197	1.5		97.8	-	-
(期末)						
2019年2月12日	11,172	1.2		97.4	-	-

*騰落率は期首比です。

*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首の11,035円から期末11,172円となりました。

(上昇要因)

- ・債券保有による利息収入を得られたこと。
- ・保有する債券の価格が上昇したこと。

(下落要因)

- ・ニュージーランドドルが対円で下落したこと。

○当ファンドのポートフォリオ

<ファンドデュレーション>

RBNZ (ニュージーランド準備銀行) の政策金利据え置きが続くなか、デュレーションを前期末から小幅に長期化しました。期末時点でのファンドのデュレーション^(※)は、4.8年としています。

(※) デュレーションとは、債券の利回り変化に対する価格変化の感応度を表し、数値が大きいほど利回り変化に対する価格変化が大きくなります。ファンドデュレーションとは、債券デュレーション×債券組入比率で表されます。

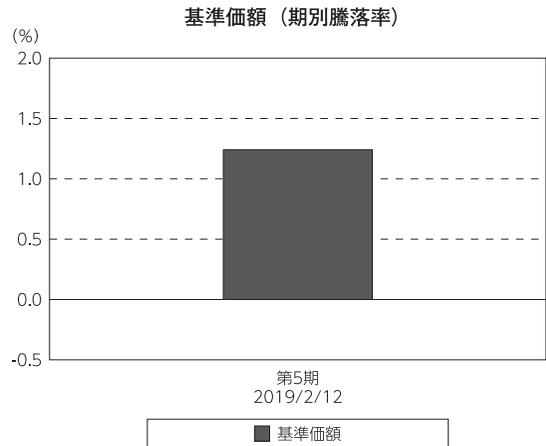
<セクター・アロケーション>

利回り水準・信用力を勘案して、高格付けの国際機関債や政府機関債を中心としたポートフォリオとしました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、ニュージーランドドル建ての公社債に投資しておりますが、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



◎今後の運用方針

ニュージーランドドル建ての公社債（国際機関債、政府機関債、準政府債（州政府債）、国債、社債等）を主要投資対象とし、インカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目指します。

・投資戦略

<ファンドデュレーション>

グローバルな経済環境の変化やニュージーランドの政策金利見通しを見極めながらコントロールします。

<セクター・アロケーション>

利回り水準・信用力を勘案してアロケーションを決定します。足元の環境では、引き続き国際機関債/政府機関債を中心としたポートフォリオとする見込みです。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年2月14日～2019年2月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.013)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	1	0.013	
期中の平均基準価額は、10,929円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2018年2月14日～2019年2月12日)

公社債

		買 付 額	売 付 額	
		千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル	
外 国	ニュージーランド	国債証券	3,661	4,174
		地方債証券	2,598	5,054
		特殊債券	3,891	2,640
		社債券（投資法人債券を含む）	—	5,852

*金額は受け渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

*単位未満は切り捨て。

*社債券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○ 利害関係人との取引状況等

(2018年2月14日～2019年2月12日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2019年2月12日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ニュージーランド	千ニュージーランドドル 32,700	千ニュージーランドドル 35,586	千円 2,645,115	% 97.4	% —	% 53.6	% 41.0	% 2.8
合 計	32,700	35,586	2,645,115	97.4	—	53.6	41.0	2.8

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄		当 期 末				
		利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
ニュージーランド		%	千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル	千円	
国債証券	NEW ZEALAND GOVERNMENT	6.0	200	219	16,301	2021/5/15
	NEW ZEALAND GOVERNMENT	5.5	1,000	1,155	85,872	2023/4/15
	NEW ZEALAND GOVERNMENT	4.5	2,300	2,739	203,646	2027/4/15
	NEW ZEALAND GOVERNMENT	3.0	500	540	40,145	2029/4/20
地方債証券	NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	6.0	400	435	32,345	2021/5/15
	NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	5.5	1,500	1,695	126,043	2023/4/15
	NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	4.5	5,500	6,158	457,770	2027/4/15
	NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	3.5	1,200	1,202	89,361	2033/4/14
特殊債券 (除く金融債)	ASIAN DEVELOPMENT BANK	3.5	2,000	2,108	156,687	2024/5/30
	EXPORT DEVELOPMNT CANADA	2.875	1,400	1,433	106,584	2023/11/30
	INTL BK RECON & DEVELOP	4.625	2,200	2,341	174,075	2021/10/6
	INTL BK RECON & DEVELOP	3.0	2,000	2,057	152,917	2023/2/2
	INTL BK RECON & DEVELOP	2.5	2,500	2,515	187,008	2024/1/24
	KOMMUNALBANKEN AS	3.375	3,000	3,124	232,221	2023/6/7
	LANDWIRTSCH. RENTENBANK	5.375	6,000	6,837	508,238	2024/4/23
普通社債券 (含む投資法人債券)	WESTPAC SECURITIES NZ LT	4.25	1,000	1,021	75,895	2020/4/15
合 計					2,645,115	

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2019年2月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 2,645,115	% 96.4
コール・ローン等、その他	98,866	3.6
投資信託財産総額	2,743,981	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*当期末における外貨建て純資産（2,718,142千円）の投資信託財産総額（2,743,981千円）に対する比率は99.1%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1ニュージーランドドル=74.33円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年2月12日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	2,758,792,989
コール・ローン等	29,327,035
公社債(評価額)	2,645,115,027
未収入金	53,556,114
未収利息	29,969,862
前払費用	824,951
(B) 負債	42,524,041
未払金	14,864,000
未払解約金	27,660,000
未払利息	41
(C) 純資産総額(A-B)	2,716,268,948
元本	2,431,354,820
次期繰越損益金	284,914,128
(D) 受益権総口数	2,431,354,820口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,172円

(注) 期首元本額は3,084,994,363円、期中追加設定元本額は69,707,816円、期中一部解約元本額は723,347,359円、1口当たり純資産額は1.1172円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額

- ・ニュージーランド債券オープン<為替ヘッジなし>(毎月分配型) 1,093,253,512円
- ・ニュージーランド債券オープン<為替アクティブヘッジ>(毎月分配型) 481,419,715円
- ・ニュージーランド債券オープン<為替ヘッジなし>(年2回決算型) 388,045,569円
- ・ニュージーランド債券オープン<為替アクティブヘッジ>(年2回決算型) 259,323,257円
- ・野村ニュージーランド債券ファンド(毎月分配型) 147,608,122円
- ・野村ニュージーランド債券ファンド(年2回決算型) 61,704,645円

○損益の状況 (2018年2月14日～2019年2月12日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	123,224,659
受取利息	123,232,431
支払利息	△ 7,772
(B) 有価証券売買損益	△ 94,965,925
売買益	90,775,179
売買損	△185,741,104
(C) 保管費用等	△ 404,325
(D) 当期損益金(A+B+C)	27,854,409
(E) 前期繰越損益金	319,316,487
(F) 追加信託差損益金	6,252,184
(G) 解約差損益金	△ 68,508,952
(H) 計(D+E+F+G)	284,914,128
次期繰越損益金(H)	284,914,128

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。

<お申し込み時の留意点>

販売会社の営業日であってもお申し込みの受付ができない日（以下「申込不可日」といいます。）があります。

お申し込みの際には、これらの申込不可日に該当する日をご確認のうえ、お申し込みいただきますようお願いいたします。

(2019年2月12日現在)

年 月	日
2019年 2月	—
3月	—
4月	19、22、25
5月	—
6月	3
7月	—
8月	—
9月	—
10月	28
11月	—
12月	25、26

※2019年12月までに該当する「申込不可日」を現時点で認識しうる情報をもとに作成しておりますが、諸事情等により突然変更される場合があります。

したがって、お申し込みにあたってはその点についても十分ご注意ください。また、諸事情等による申込不可日の変更は、販売会社に連絡いたしますので、お問い合わせ下さい。

なお、弊社ホームページ (<http://www.nomura-am.co.jp/>) にも掲載いたしております。